

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAカラフル		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公益財団法人ぐんまYMCA全体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YMCAアフタースクールCoCon(学童)との交流</li> <li>・バザーやファミリークリスマス会、チャリティーランなど地域に開かれた行事や様々な人と関わる機会の提供</li> <li>・「赤城キャンプ」を利用した野外活動</li> </ul>	参加できるプログラムの広報を強化し、活動に幅広く関わることで経験を増やし成長できるように、参加を促していく。
2	ボランティアリーダー(主に大学生)の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YMCAの活動に携わっているボランティアリーダーが、レクリエーションをしたり、話し相手になったりと、日常的に自然と交流できる環境作り。</li> <li>・ボランティアリーダーにYMCAカラフルの子どもたちについての対象理解・研修を行い、適切な対応ができるように指導している。</li> </ul>	特定のボランティアリーダーのみならず、多数のリーダーが定期的にYMCAカラフルの活動に関われるように、年間予定を掲示していく。その上で、ボランティアリーダーへの声掛けをスタッフが積極的に行い、周知していく。
3	施設空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階・2階と十分なスペースがあり、「学習スペース」「静かに過ごす部屋」「運動スペース」を設置。活動空間を分けて各所に職員を配置し、子どもたちの状況に配慮している。</li> </ul>	わかりやすく分けた空間をより有効的に活用していけるように、プログラム内容と共に検討していく。固定化することなく、スタッフ間で協議しつつブラッシュアップしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容や行事予定といった情報の定期的な発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやSNSを利用することは容易であり情報の発信としては有効的なツールとして認識している。しかし、不特定多数が目にするため、情報発信に工夫が必要となる。</li> <li>・避難訓練など実施していても、保護者様全体への周知が徹底していない。</li> </ul>	活動内容をまとめた写真等を、年間を通して保護者様全員が目に見えるように工夫して掲示していく。またグループ活動(オレンジ)のお知らせを配信する際、避難訓練など必要な情報を網羅して掲載する。
2	家族支援・交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バザーやチャリティーランなど法人全体での家族交流イベントは実施しているが、YMCAカラフルにおける保護者会等は設けていない。</li> <li>・保護者会等の開催については、保護者様内でも賛否様々なご意見があると思われる。</li> </ul>	保護者様のご意見・ご要望を伺いつつ、まずは参加自由型の保護者参観日を設け、YMCAカラフルでの子どもたちの様子をご覧いただくとともに、スタッフ・保護者様同士の交流の一助となるような機会にしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	YMCAカラフル	公表日	2026年3月31日
		利用児童数	12人
		回収数	10

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7		1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		2	2	・YMCA全体ではあると思います。 ・イベントですかね。バザーなど。	保護者の方々のご意見を伺いながらご要望に応じて実施していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				・いつも相談にのっていただき、ありがとうございます。	引き続きお子様、保護者の方々が安心してご利用できるよう、職員全員で取り組んでまいります。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		1	・拝見していませんでした。	保護者様向けの評価、自己評価については、実施の翌月にHPにて結果をお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			4	・木金だけの利用でしたがありましたか。	必要な訓練は年間予定を立てて実施しています。改めて保護者の方々が分かるように整えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・いつもありがとうございます！ ・長期休みの朝の受け入れ時間や活動終了の時間がもう少し長いとより良いと思います。	長期休みについては、法令の基本時間に加えて延長時間も設けております。今後もお子様、保護者の方々が安心してご利用できるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	YMCAカラフル		公表日	2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・1階、2階とも活動スペースとしており、活動に応じて活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・個別の対応やスペースで職員が分散しても対応できる職員数を常時確保できている。 ・ロビー・ナースリールーム・2階へと分担して配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・活動スペースが数か所に分かれているが、各所に職員を配すことを徹底して、児童の状況に配慮している。 ・勉強する空間・静かに過ごす部屋とわかりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日清掃を実施し、活動ごとにスペースを分けて快適に過ごせるように工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・1階、2階ともスペースに余裕があり、また個別対応も可能な職員配置をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・定期的に会議を開催し、非常勤職員も参加している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・モニタリングや担当者会議、お迎え時やお送り時などに意見を伺い、業務改善につなげている。 ・評価表を受け、職員間で会議を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・日常的にも状況共有しながら意見交換をしたり、会議で意見をしやすい環境がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		・今後必要性は感じる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・事業所内研修は定期的にある。	・外部研修は受講していない。内容によって受講すべきではないかと感じる。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・HP上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・定期的なモニタリング、保護者との面談、担当者会議を経て、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・支援会議を開催し、協議している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・定期的な会議において、また職員全員が目にするところに掲示し、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・各項目を設定し、具体的な支援内容をスタッフ間で検討し、設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・個別療育と集団療育で、集団療育のプログラムは、固定化しないようにスタッフで協議して設定している。また、長期休みは毎日活動内容を事前設定している。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団活動を月の予定として公表し、計画に従い実施。児童の運動発達や社会経験となるようなプログラムを準備している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・児童迎え前に、職員間で確認と準備をしている。 ・必要に応じて行なわれている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・退勤時間が違うので全体でシェアは、できないが翌日には情報共有をきちんと行っている。 ・必要に応じて行なわれている。 ・翌日に行われるケースが多いが、できていない状況ではない	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・コミュニケーションノートを活用し、多角的な視点での記録を心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・保護者とも定期的に面談し、職員間でも協議している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	・適時必要に応じて行っている。	・地域交流(ハロウィン時の訪問の実施記録あり)の枠を広げられるのではないかな。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者またはそれに代わる者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・担当者会議において、また必要に応じて、学校と密に連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		・必要に応じて助言、研修等を積極的に受けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・CoCon(学童)との縁日の実施はあるが、他にできる機会の検討の余地あり。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		・次年度はぜひ参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時や電話などで必要な連絡をしたり、相談対応をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		・面談の機会プラスαを設ける必要性の検討
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時、また変更時に個々の保護者様に直接説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・定期的な面談、会議を通して、計画を作成し、保護者様から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3		・長期休みでの、日帰り遠足等の実施を検討(平日仕事がある関係で難しい家庭が多い可能性あり)

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・月の予定表をメール配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・施錠できる場所に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・バザーを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアル等は策定済みであり、年間予定を立てて実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・避難訓練の実施。真剣に向き合う機会を作る ・計画は策定済みである。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・指示書までもらっていない。保護者からの申告あり。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・必要な処置を適時行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	・適時必要に応じて行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2		・会議の中でのケースワークの実施をする必要性あり
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・動画研修等行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・適時必要に応じて行っている。 ・現状はないが、必要があれば行う。		